

**終了いたしました。**

一般財団法人 地域総合整備財団（ふるさと財団）主催・福岡県共催  
**福岡県「地域再生セミナー」開催のご案内**

|       |  |        |
|-------|--|--------|
| 講 師   | [基調講演] 株式会社日本総合研究所 主席研究員<br>演 題：地域の『稼ぐ力』をどう上げるか？ | 藻谷 浩介氏 |
|       | [事例発表] 株式会社四万十ドラマ 代表取締役社長<br>演 題：四万十のあしもとにあるもの   | 畦地 履正氏 |
| 開催日時  | 2018年8月28日（火）<br>13:30～16:30（開場13:00）            |        |
| 会 場   | 福岡県庁3階講堂<br>福岡市博多区東公園7番7号                        |        |
| 参 加 費 | 無 料  |        |
| 定 員   | 150名   |        |
| 主 催   | 一般財団法人地域総合整備財団                                   |        |
| 共 催   | 福岡県  |        |

**【セミナー概要】**

福岡県が平成27年12月に策定した「人口ビジョン・地方創生総合戦略」では、増加傾向で推移している本県人口もやがてはピークアウトを迎える、減少局面に転じる見込みとしています。

人口の減少は、地域経済の規模縮小だけではなく、地域社会の活力そのものを低下させることも懸念されます。活力ある地域社会を維持するためには、若者が地域で職を得て、県外に転出することなく、生まれ育った地域で活躍し、大都市圏からも安心して戻ってくることができるようになりますことが重要です。

そこで、本セミナーでは、その方策の一助としていただくため、基調講演として日本総合研究所主席研究員の藻谷 浩介氏をお招きし、「地域の『稼ぐ力』をどう上げるか？」をテーマにお話ししていただきます。また、地域再生の事例発表として、株式会社四万十ドラマ代表取締役の畦地 履正氏より、「四万十のあしもとにあるもの」をテーマに、高知県四万十町における実践的な事例を紹介していただきます。

（各講演時間：質疑応答含めて75分を予定しています）

**【セミナー内容等のお問合せ先・電話番号】**

（一財）地域総合整備財団（ふるさと財団）地域再生部 野村・03-3263-5736

**【参加申込等に関するお問合せ先】**

福岡県 企画・地域振興部 市町村支援課 地域支援班 紙谷・092-643-3302

---

## 講師略歴

### <基調講演>

株式会社日本総合研究所 主席研究員

藻谷 浩介氏

山口県周南市(旧徳山市)出身。

1983年 東京大学文科Ⅰ類入学

1988年 東京大学法学部私法コース卒業、日本開発銀行(現日本政策投資銀行)入行。

1994年 米コロンビア大学経営大学院(ビジネススクール)卒業(経営学修士= MBA)



平成合併前3,200市町村のすべて、海外72ヶ国をほぼ私費で訪問し、地域特性を多面的に把握。2000年頃より、地域振興や人口成熟問題に関し精力的に研究・著作・講演を行う。2012年より現職。兼職活動として、内閣官房、内閣府、国交、農水、総務、厚生労働、財務、経産、文科省等の各種審議会委員多数。

近著に、「世界まちかど地政学90力国弾丸旅行記」(毎日新聞出版)、「デフレの正体」、第七回新書大賞を受賞した「里山資本主義」(共に角川Oneテーマ21)、「金融緩和の罠」(集英社新書)、「しなやかな日本列島のつくりかた」(新潮社、7名の方との対談集)。

### <事例発表>

株式会社四万十ドラマ 代表取締役社長

畦地 履正氏

高知県出身。高知東高等学校卒。



1982年通信関連企業入社。1987年地元十川農協(現高知はた農協)に就職。1994年四万十川流域町村(旧大正町・十和村・西土佐村)が出資設立した株式会社四万十ドラマに就職。「四万十川に負担をかけないものづくり」をコンセプトに地域と密着し、自然循環型企業を目指した事業展開に従事する。2007年道の駅「四万十とおわ」を指定管理者として運営。同年、代表取締役に就任。四万十川流域観光集客のシステムをつくる「四万十また旅プロジェクト」にも参画し、新たな観光産業を生み出し中である。その他、総務省 地域力創造アドバイザー(地域人材ネット登録)、ふるさと財団地域再生マネージャーを務めている。